

# 地域コミュニティによる学生支援方策

～京町家を拠点にした異世代協同プロジェクト～ ▼ 同志社大学

## プロジェクト概要

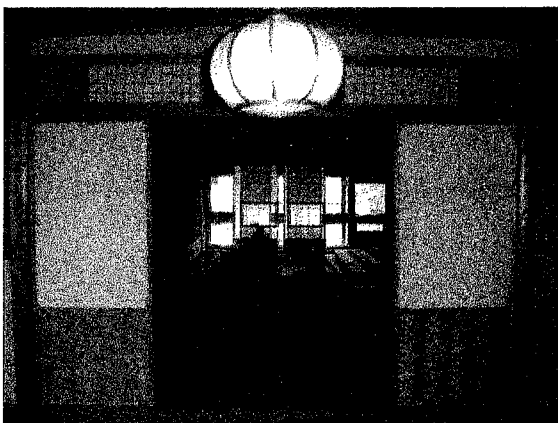
本学今出川校地の所在する「京都市上京区」は、有形無形の歴史的・文化的財産に加えて、町内会の自治等、伝統的に強い地域力を有しています。その特性を活かし、地域ぐるみで多様な感性の行き交う「学生支援」を行なうことが本プログラムの目的です。学生と市民が運営する町家では、「子ども」「学生」「大人」「高齢者」が出入りし、世代混合のサークル活動や議論の場が展開される他、学生が「異世代と協同」しながら、「歴史・文化・伝統産業」等の地域財産を発掘し、現代の生活の中に継承していくことに関わる文化プロジェクトを展開していきます。また、学生が地域コミュニティの住人として町家で生活することによって、生活上のルールや風習やしきたり等を学び、共に実践していきます。「歴史文化の担い手」としての自己や「社会の構成員」としての自分の役割を意識することに繋がる「地域教育」の中で、現代の学生が実社会に出て行くために必要な「ライフスキル」の獲得を促進したいと考えています。

## 大学と学生が町に出て行きます

大学内での展開ではなく、大学と学生が町に出て、町家で「子供」「大人」「高齢者」という異世代との関わりの中で活動を行うことによって、学生のライフスキル（社会性や人間力）を高めていくことを期待しています。

## その背景

公共心やモラル、社会や組織への適合力の欠損…等、若者を取り巻く現代の社会的課題の多くは、異世代の共存する「地域社会との関わり」の不足に一因があるとも考えられます。下宿や定食屋等で学生が町の人との繋がりを保っていた時代とは異なり、現代の学生の生活実態は「ワンルームマンション」「コンビニ」「メール」が中心になりがちです。学生にとって、町に住み、様々な地域社会と関与しながら「先輩」にも「後輩」にも立場を変える経験は重要だと考え、「文化」を継承していくことや「社会」を構成していくための一員であることへの自覚を促すという意味においても「地域による社会教育」の有効性に着目しました。



## 町家とは何か

「うなぎの寝床」に例えられる「町家」のある町並みは上京区の原風景とも言えます。しかし、こうした町家の多くは老朽化が進み、居住者も高齢者が多く、改修等が進みにくくなったり、マンションや駐車場になったりして、景観や居住問題が生じていたりもします。そうした中、町家の改修や空家になった町家の斡旋等、市民主導による町家の活用も進みつつある状況です。「町家」は、限られた土地を最大限活用して「実用的で、美のある暮らし」を実現した京都人の知恵の結集とも言える空間です。

## <町家での継続事業>

### A:町家サークル

上京区の市民や、クラブ・サークル、留学生、障がい学生を含めた学生が講師を務めながら「子ども」「学生」「高齢者（大人）」がともに参加するサークルを運営する。

〔例〕邦楽、伝統芸能、京都研究、英語、手話・点字、地球環境研究、演劇、合唱…。

### B:井戸端会議

「学生（中高生も含む）」と「大人」とが膝をつき合わせながら、「赤ちゃんポスト」「スポーツ特待生」「地球温暖化問題」「喫煙問題」「路面電車」等の時事問題、判断や様々な考え方があり得る身近な問題について、一定のルールと方式の中で議論を行なう。

### C:季節のイベント

「6月には水無月（京菓子）を食べる…」、というような今は途絶えかけている季節や毎月の生活上の習慣について学び、大人や子どもたちと共に実践していく。

## <各年度のプロジェクト>

### ◆2008年度「面白地図を作ろう」◆

上京区（京都市）と連携して、本学学生のプロジェクトチームを結成。歴史、文化、生活、産業からみた上京区情報を分析し、「職人マップ、お地蔵様マップ、織機所在地マップ、老舗マップ、井戸マップ、縁台マップ、…」様々な地図を作成する。

### ◆2008年度「行事や風習を集めて面白カレンダーを作ろう」◆

同プロジェクトチームにより、町内会の伝統行事や風習等を調べるとともに、コミュニティの果たして来た役割を研究する。また学生が現代社会の中で地域生活をしていくときに守るべきマナーや公共心についての心得をまとめ、本にして出版。

### ◆2009年度「京都のわらべ歌を集めて子どもたちに教えよう」◆

京都に伝わる「わらべ歌」や「あそび歌」をお年寄りや研究者から聞き取り、遊び方も含めて子供たちに教える。また小学校や京都の作曲家等との協力により、現在の町事情に合った新しい遊び歌を作りCD付きブックとして出版します。

### ◆2009年度「京都の伝統産業を現代生活の中に生かそう」◆

西陣を中心とした京都の伝統産業に関わりながら、引き継がれてきたものと生活の中への息づき方を学ぶ。現代的な生活との関わりの中から再検証し、現代生活の中に生かしていくための新商品開発を行なう。

### ◆2010年度「上京カルチャータンを世界に発信しよう」◆

町の持つ社会教育機能と地域における大学のあり方を考え、異世代が有機的連関の中で生活・活動する上京区の仕組みを世界に発信するための手段を考える。グローバル時代の日本社会の市民性や社会性についてシンポジウム等による情報発信を行なう。